

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF1	科 名 II 部服装科 1 年	単 位	16 単位
科目コード	科目名 服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：加藤紀人ほか担任

共同担当者：2 組鞠子有沙、3 組田中亜祐美、4 組上野和博

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

原型を作成し体型の特徴を理解する。ワンピースドレス、シャツブラウス、裏付きスカートにおける作図の基礎理論、素材に合った縫製技術を理解させる。また、製作条件に基づいたデザイン展開に必要な作図方法、縫製方法などを指導する。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

服飾造形 論 I 11 (000210) … 通年 4 単位

服飾造形 デザイン I 11 (000310) … 通年 5 単位

服飾造形 実技 I 11 (000410) … 通年 7 単位

I. 服装造形オリエンテーション・・・2 コマ(前期)

II. 一般知識・・・15 コマ(前期) 用具・縫合、人体計測、作図の基礎

III. ワンピースドレス・・・33 コマ(前期) デザイン・パターン・実物製作

IV. シャツブラウス・・・35 コマ(前期～後期) デザイン・パターン・実物製作

V. 裏付きスカート・・・39 コマ(後期) デザイン・パターン・実物製作

VI. 発表会・・・4コマ(前期2コマ・後期2コマ)

## 【評価方法】

S～C・F 評価 学業評価80% 授業姿勢20%

## 主要教材図書

文化ファッション体系服飾造形講座①「服飾造形の基礎」、②「スカート・パンツ」、③「ブラウス・ワンピース」

参考図書 なし

その他資料 プリント、参考作品

## 授業の特徴と担当教員紹介

実物標本による示範説明及び点検を行う。クラス担任が担当。

記載者氏名 加藤紀人

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VF1	科 名	Ⅱ部服装科1年	単 位	1
科目コード		科目名	服飾デザイン論Ⅰ	授業期間	全7回

担当教員(代表)：小島 有紀	共同担当者：－
----------------	---------

教育目標・レベル設定など

**教育目標**：服飾デザインにおいて基礎となる「色彩」を見る力や分析する力を養い、講義及びカラーワークを通して実践する。

**レベル設定**：色彩学の基礎知識や基本的な配色理論を習得し、ファッション業界で色彩を展開する方法を学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

## ●服飾デザイン概論・オリエンテーション(1コマ)

- ・服飾デザインにおける「色彩」／ファッションにおける「色」の活用と展開
- ・カラーカード(ベーシックカラー140、カラーチャート140)の取り扱いと準備

## ●色彩の基礎(1コマ)

- ・色彩の性質と体系
- ・有彩色と無彩色／色の三属性(色相・明度・彩度)
- ・トーン／純色・清色・濁色・トーンの成り立ちとイメージ表現
- ・カラーシステムについて

## ●色彩とイメージ(1コマ)

- ・色によるイメージ効果
- ・色相と温度感／明度と重量感・硬軟感／彩度と強弱感・派手地味感
- ・色と連想／色と象徴

## ●カラーコーディネーション(配色技術)(2コマ)

- ・色彩を基準にしたカラーコーディネーション(同一色相・類似色相・中差色相・対照補色色相)
- ・トーンを基準にしたカラーコーディネーション(同一トーン・類似トーン・対照トーン)
- ・カラーワーク作品(コントラスト配色)

## ●色彩の科学(1コマ)

- ・光と色彩／光の色・物体の色／色の見え方
- ・三原色と混色(減法混色と加法混色)

## ●色彩の基本まとめ・活用について(1コマ)

- ・色彩の識別まとめ(色相・トーン)・色感／色の対比の基本的な見方
- ・配色のまとめ
- ・ファッション業界における色彩の活用ポイント／流行色・パーソナルカラー

\*上記の内容を、講義や実習を織り交ぜながら進める。

### 評価方法・対象・比重

- ① S～C・F評価／評価基準：学業評価60%(提出物・作品課題の内容評価)  
授業姿勢40%(出席状況、参加姿勢、提出物の提出の有無)

### 主要教材図書

文化ファッション体系 服飾関連講座⑨ 『服飾デザイン』文化出版局

参考図書 なし

その他資料 ベーシックカラー140・B5版、ベーシックカラー140・B8版(日本色研事業株式会社)  
カラーチャート140

記載者書名欄 小島 有紀

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VF1	科 名	Ⅱ部 服装科 1年	単 位	2 単位
科目コード	500810	科目名	ファッションデザイン画 I	授業期間	半期

担当教員(代表)：澤田石 澄子	共同担当者：玉川 あかね、金谷 容子、河西 恵美子
-----------------	---------------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 人体のプロポーションを把握する。 着装画と素材表現・デザインを発想する基礎的な技法を習得する。
---

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先  1、基本プロポーション【1コマ】8頭身のプロポーションについて実技演習。 2、ポーズ【2コマ】身体の動き、流れをつかむ。正面、側面などのポーズを描く。 3、着装表現【2コマ】身体の動きと衣服の関連。陰影、しわ、立体感、衣服の構造線。 4、製品図【2コマ】衣服を正確に図で表現する。シャツ、スカート、パンツ、ジャケットなど。バックスタイル。 5、彩色表現【2コマ】水彩絵の具習得、筆の使い方、肌の色を表現する。 6、素材表現【3コマ】特徴のある素材を描く。透明感・凹凸感・光沢感・ダメージ感など。様々な画材を使用。 7、デザイン発想【2コマ】創作デザインと表現力の強化。
---

【評価方法】 ① S～C・F評価 学業評価80% 出欠状況20%
--

主要教材図書 文化ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画、補助プリント
参考図書 ファッション雑誌
その他資料 B4サイズレイアウトパッド・画用紙・水彩絵の具セット・色鉛筆・マーカー・パステル

授業の特徴と担当教員紹介	ファッションデザイン画の基本技術の習得をします。 文化服装学院のファッションデザイン画講師が担当します。
--------------	---

記載者氏名 澤田石 澄子
--------------

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF1	科 名 II 部服装科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 服飾手芸 I	授業期間	7 週

担当教員(代表)：毎熊 舞	共同担当者： 齊藤 美子
---------------	--------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾手芸全般における基礎知識を理解したうえで、レリーフライク表現（スモッキング）・加飾美表現（カラーエンブroidリー、ビーズ・スパングルエンブroidリー）・装飾造形表現（コサージュ）を制作。また、基礎で学んだ加飾美表現を用いてデザインの発想・新たな素材の扱い方を習得し、応用作品を製作する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
手芸一般知識・レリーフライク表現(ラティススモッキング)	師範説明・実習	1
加飾美表現 エンブroidリー基礎(ミラーワーク)	師範説明・実習	1
加飾美表現 エンブroidリー基礎(カラーエンブroidリー)	師範説明・実習	1
加飾美表現 エンブroidリー基礎(ビーズ・スパングルワーク)	師範説明・実習	1
加飾美表現 エンブroidリー応用(デザイン相談・実習)	実習	1
装飾造形表現(コサージュ制作)	師範説明・実習	1
エンブroidリー応用作品・コサージュ(実習・作品提出)	師範説明・実習	1

## 【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧「手芸」
参考図書
その他資料 各種コレクション作品写真集等

授業の特徴と担当教員紹介 本校を卒業した教員による実技中心の科目。服作りの際に使えるような装飾の基礎を学びまたその技術を利用したオリジナルの作品制作を行う。

記載者氏名 毎熊 舞

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 II 部服装科	単 位	1 単位
科目コード	科目名 西洋服装史 I	授業期間	前期 or 後期

担当教員(代表)：菊田 琢也	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

西洋服装史の通史的、概論的授業。1 年次では、古代から 18 世紀までの西洋史と服装の変遷について学ぶ。特に、ヨーロッパの服装の変化と特性に重点を置き、現代ファッションの生成を理解し、学生が今後のファッションデザインにその知識を活かせるようにする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
イントロダクション:歴史を学ぶ意義と方法論	座学	1
古代の服飾:エジプト、メソポタミア、ギリシア、ローマ	座学	1
中世の服飾:ビザンティン、ロマネスク、ゴシック	座学	1
近世の服飾(1):ルネサンスの服飾	座学	1
近世の服飾(2):バロックの服飾	座学	1
近世の服飾(3):ロココの服飾	座学	1
まとめ:近世の服飾の変遷と社会的役割	座学	1

## 【評価方法】

授業態度、授業内課題を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

## 授業の特徴と担当教員紹介

昭和女子大学環境デザイン学科専任講師。被服環境学博士。専門は文化社会学、近現代ファッション史。大学で教鞭を執るほか、パリコレクションなどの取材を継続して行なっている。主な著書に、『相対性コム テ ギャルソン論』(共著、フィルムアート社、2012)など。

## 主要教材図書

文化服装学院編『改訂版・西洋服装史』文化出版局 2012

授業プリント(毎回配布)

## 参考図書

## その他資料

## 記載者氏名

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF1	科 名 II 部服装科1年	単 位	1単位
科目コード	科目名 アパレル素材論 Ia	授業期間	7回

担当教員(代表)：菅野めぐみ

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次ではおもに「繊維」に関する基礎知識について、講義や演習を通し理解を深める。  
更にテキスタイルとアパレル業界を関連付けながら解説し、服造りや取扱いにおける素材知識を身につけることを目標とする。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、アパレル素材・繊維とは(講義、演習、実験)・・・2コマ  
アパレル素材とは、繊維の定義、種類、長さ別分類  
各繊維性能について  
繊維の鑑別(顕微鏡法、呈色法)  
＜ワークブック＞服装調査、顕微鏡法、呈色法(演習・実験含)
- 2、天然繊維(講義、演習)・・・8コマ  
2-(1) 植物繊維・・・綿、麻  
2-(2) 動物繊維・・・毛、絹  
原料、主要生産国、品種、繊維形状、成分、性質、一般的に施される各加工等について  
＜ワークブック＞精練・漂白の効果(演習含)
- 3、化学繊維(講義、演習)・・・4コマ  
3-(1) 再生繊維・・・レーヨン、ポリノジック、キュプラ、リヨセル  
3-(2) 半合成繊維・・・アセテート、トリアセテート  
3-(3) 合成繊維・・・ナイロン、ポリエステル、アクリル、その他合成繊維  
原料や繊維化までの工程、性質、用途等について

## 【評価方法】

S～C・F 評価(学業評価 80% 授業姿勢 20%)

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブックアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地について素材への理解に取り組みせる授業です。  
文化服装学院専任講師/菅野めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF	科 名 II 部服装科 1 年	単 位	1 単位
科目コード 600100	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	前期

担当教員(代表)：澤谷 目童

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1. ファッション業界におけるファッションビジネスに関する基礎知識を学習させ、理解させる。
2. ファッション産業構造と職種・職域の理解を深め、将来の目標設定に役立てる。

1. オリエンテーション
2. ファッションとファッションビジネス
3. ファッションビジネスの変遷
4. ファッション流通
5. ファッション産業の構造
6. ファッションマーケティング/ファッション情報
7. マーチャンダイジング
8. ビジュアルマーチャンダイジング
9. 計数知識

評価方法・対象・比重  
出席状況、英字評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 澤谷 目童

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VF1	科 名	Ⅱ部服装科1年	単 位	1単位
科目コード		科目名	特別講義Ⅰ	授業期間	7コマ（通年）

担当教員（代表）：加藤紀人ほか担任

共同担当者：2組鞠子有沙、3組田中亜祐美、4組上野和博

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションに関する現場で活躍されている方々、またその関連分野の専門の方々の講義を聴講、展示見学することにより、知識の幅を広げて、感性を磨き、今後の勉強のあり方を明確にさせる。

## 【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

特別講義Ⅰ・・・ 通年1単位

- I. 講演会（4コマ）・・・ 「トレンド情報」  
「デザイナーの仕事」  
「職種について」  
「アパレル業務の実情」
- II. 博物館見学（3コマ）・・・ 「“オモシロイフク” 大図鑑」  
「世界のビーズ」  
「あつまれ！どうぶつの模様」

## 【評価方法】

履修認定（P表示）

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

## 授業の特徴と担当教員紹介

ファッション業界で活躍する方々より、アパレル企業の現場で働く現状などの講義を実施

記載者氏名 加藤紀人



# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF2	科 名 II 部服装科 2 年	単 位	16 単位
科目コード	科目名 服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐藤 明彦	共同担当者：1-佐藤 2-塚崎 3-市橋
----------------	----------------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・パンツ、ジャケットの服装造形について学ぶ。  
各アイテムの一般知識を学習すると共に、平面作図による基本的作図理論を理解させ、パターンメイキングを行う。  
裁断、縫製を含め、各作品を実制作させる。
- ・パターンメイキング技術の手法として、立体的裁断の基礎を理解、習得させる。

服装造形 論Ⅱ（000220）・・・ 通年 4 単位

服装造形 デザインⅡ（000320）・・・ 通年 4 単位

服装造形 実技Ⅱ（000420）・・・ 通年 8 単位

1. パンツ … 13 コマ（前期） パターン制作・実物製作

○パンツの構造、縫い方の手順・要点を把握させる

部分縫い・・・脇斜めポケット

2. ジャケット … 40 コマ（前期～後期） デザイン・トワフル仮縫い・パターン・実物製作

○一般知識（語源、歴史、名称、デザイン、素材、流行の傾向、着装法など）

作図（3 面構成）を通してシルエットの構造、原型との相関性、胸ぐせ、肩ダーツの処理方法を理解させる

2 枚袖、テーラードカラーの作図、型のとらえ方と、メンズカジュアルジャケットについても理解させる

○トワフルによる仮縫合せ、体型補正、デザイン補正、縫い代つきパターンメイキング方法を習得させる

部分縫い・・・フラップポケット、鳩目つき穴かがり

3. 立体的裁断… 11 コマ（後期） 文化ボディ、シーチングを使用してドレーピング

○一般知識（ボディの基準線、生地地の直し）

○ドレーピングによるパターンメイキングの基礎を習得させる

・スカート 3 種（タイトスカート、フレアスカート、セミフレアスカート）を立体的裁断の手法で制作

## 評価方法

S ～ C ・ F 評価 評価基準：学業評価 80% 授業姿勢 20%

学業評価＝学年末試験の得点、平常成績（授業内での応答、課題作品・実技の評価）

授業姿勢＝出欠状況、授業課題提出状況など

## 主要教材図書

文化ファッション大系服飾造形講座「スカート・パンツ」「ジャケット・ベスト」「立体的裁断 基礎編」

## 参考図書

## その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

服飾造形について学ぶ。 文化服装学院の教員、講師が担当する

記載者氏名 佐藤 明彦

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF2	科 名 II 部服装科2年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 服飾デザイン論Ⅱ	授業期間	2024/5/29～/10/16 2024/10/23～2025/3/5

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：
---------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年次にメインで学んだ色彩の基礎に加え、形態や構成、それらの組み合わせによるファッションイメージの創出などの講義・演習を通じて、自身がイメージするデザインの方向性を視覚化するためのスキルを養う。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
デザインとは(オリエンテーション) / 色彩論の復習	座学	1
色彩の感情効果・流行配色	座学・実習	2
造形論、形の展開 / コンポジション / デザイン論的観点による素材	座学・実習	2
歴代ディオールデザイナーの PLANNING 分析	座学・実習	2
ファッションイメージの分析・構築	座学・実習	2
色彩計画(カラープランニング)	座学・実習	2
最終課題説明	座学	1
最終課題制作実習	実習	2

## 【評価方法】

出席率、授業内課題、最終ポートフォリオ制作課題

## 授業の特徴と担当教員紹介

四大卒後、文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に8年間勤務。日本美術・西洋美術の知見を用いて美術・デザインを分析的に見る視点をもとに、デザインの方法論を考察・一般化して学生に届ける。

主要教材図書 文化ファッション体系 改訂版・服飾関連専門講座『服飾デザイン論』文化服装学院編

参考図書 『ファッション色彩Ⅰ』『ファッション色彩Ⅱ』(一財)日本ファッション教育振興協会編

その他資料

記載者氏名 布施伊織

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	21102	科 名	Ⅱ部服装科2年	単 位	1単位
科目コード	51120	科目名	ファッションデザイン画 Ⅱ	授業期間	(半期組交代)

担当教員(代表)：橋本 定俊	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

画材研究による彩色表現の広がりとテクニックの上達を目標とする。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・画材研究・ノーマーカーによる彩色テクニックの習得 <2コマ>
- ・画材研究・ノパステルによる彩色テクニックの習得 <2コマ>
- ・マイコレクション／着装表現とデザインバリエーション展開  
就職活動にむけてのポートフォリオの作成方法 <3コマ>

## 【評価方法】

課題作品による評価 評価基準:学業評価75%、授業姿勢25%

## 授業の特徴と担当教員紹介

担当教員 橋本定俊

ファッションデザイン画のテクニック向上に加え、担当教員のアパレル業界でのデザイナーとしてのキャリアと知識に基づく、学生の未来に視点を置いた学習内容と指導になっている。

担当教員は、大学卒業後、文化服装学院アパレルデザイン科を卒業。(株)BIGI、(株)ワールド、タケオ・キクチのアシスタントデザイナーを経て、(株)イトキンでオリジナルブランドを設立、その後 文化服装学院、文化学園大学で、ファッションデザイン画、ファッションイラストレーションの講師を務めている。(株)STHM 代表。

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

記載者氏名 橋本定俊

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF	科 名 II 部服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード 304020	科目名 服飾手芸 II	授業期間	半期組交代

担当教員(代表)：齊藤美子	共同担当者：
---------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

服作りの発想の可能性を広げる新たなテクニックの習得し、立体造形・装飾表現の新しい発想につなげる。  
併せて実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標とする。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### 1 エンブroidアリー、レース (6コマ)

布加工の技法や刺繍の表現・レースの技法を各種演習し、テキスタイル的に布に様々な表情をつける方法を習得する。

- ① シャーリング (布を縮める技法による表面効果を習得する。)
- ② キルティング (布を膨らませてテキスタイルを作る方法を習得する。)
- ③ リボンワーク (リボンを素材とした数々の技法(バラ、小花)にあわせて立体的に装飾する技法を習得する。)
- ④ ニードルポイントレース (レースのテクニックの中の針を使ってレース表現をする基礎テクニックを習得する。)
- ⑤ ファゴティング(布と布の相田に糸でかがりを入れ、透かし模様を表現する技法を習得する。)

### 2. マップ製作 (1コマ)

- ①～⑤で製作した作品をマップの形に完成させる。
- 実際の商品に取り入れた資料を調査収集し、添付する。

授業方法 講義と演習

## 【評価方法】 制作物による評価

作品：授業態度・出席状況＝8：2

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸
参考図書	THE ART OF Manipulating Fabric (Colette Wolff)
その他資料	実物標本、段階標本

授業の特徴と担当教員紹介 オリジナルバッグブランドを立ち上げ、物づくりの活動経験を活かし、服作りの発想の可能性を広げるためにテクニック、立体造形・装飾表現の技法を講義と実習をとおして実施。

記載者氏名 齊藤美子

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 II 部服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 西洋服装史 II	授業期間	7 回 ( )

担当教員(代表)：朝日 真

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

近代以降を中心に、近代から現代までを時代背景、美術等にふれながら服飾の流れについて学ぶ。また現代以降は各時代のデザイン様式、映画、写真などの変遷にも触れ、なおいっそうのファッションへの理解を深める。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	近代の服飾、19世紀から20世紀へ	16	
2	1900～1930年代のファッション	17	
3	1940～1950年代のファッション	18	
4	1960年代のファッション	19	
5	1970年代のファッション	20	
6	1980年代のファッション	21	
7	1990年代のファッション	22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

レポート提出（50%）、出欠と授業態度（50%）

主要教材図書

文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションを専門とする。

記載者氏名 朝日 真

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VF002	科 名	Ⅱ部服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	アパレル素材論Ⅰb	授業期間	7 回

担当教員(代表)：野沢 彰	共同担当者：
---------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

「アパレル素材論Ⅰa」と合わせてアパレル製品の主な材料である布地と、それを構成する糸、繊維、またそれらに対する染色、仕上げ加工などに関する基礎知識について学び、素材の性質とアパレル製品の機能、品質の関りが理解できるよう指導する。

## 【授業計画】

繊維について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(3.5)

- ・毛、絹繊維の性質
- ・「梳毛織物と紡毛織物の区別」：実習
- ・化学繊維の性質

糸に関する知識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(0.5)

- ・糸の太さ
- ・糸の種類
- ・糸の構造（撚り、デザイン、用途など）

布地の観察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(3)

- ・毛、絹織物の種類と特徴
- ・編地（ニット）の種類と特徴
- ・布地加工の種類と特徴
- ・その他の布地（皮革、羽毛など）

## 【評価方法】

レポートなど学業評価80% 授業姿勢20%による総合評価

## 主要教材図書

文化ファッション大系 改訂版・服飾関連講座③「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック・アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

## 授業の特徴と担当教員紹介

野沢彰：文化服装学院専任教授 当科目他「ウィービングデザイン演習」「テキスタイル産業論」などを担当

記載者氏名 野沢 彰

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 II 服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表)：田村亜由美	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

テキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯などの取り扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格等について講義、演習、実習を通して学び、法律や規格を遵守した上で、実用性能、要求品質を満たしたアパレルの企画、製造、販売ができることを目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 関連する表示の法律	講義	4 コマ
・ アパレルの品質管理について		
・ 品質表示について、アパレルに関連する法規制の理解		
2. アパレルの取り扱い・洗濯	講義 演習	4 コマ
・ 洗濯方法の種類と特徴		
・ 特殊クリーニングについて		
・ 耐薬品性・しみ抜き方法の理解、しみ抜き実習		
・ 保管について		
3. 品質評価	講義・実習	4 コマ
・ 寸法変化		
・ 染色堅ろう度		
4. アパレルの保証とクレーム事例	講義	2 コマ
	計	14 コマ

【評価方法】 学業評価:80% 授業姿勢20%

主要教材図書 主要教材図書 ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、品質管理を学習する。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒業、職歴 都内百貨店の品質管理、公的検査機関

記載者氏名 田村亜由美





# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF2	科 名 II 部服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード 980020	科目名 特別講義 II	授業期間	通年 ( 7 コマ )

担当教員(代表) : 佐藤明彦	共同担当者 : 1-佐藤 2-塚崎 3-市橋
-----------------	------------------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションに関する現場で活躍されている方、その関連分野の専門の方の講義を受講する。  
また関連する展示を見学することにより知識の幅を広げ、感性を磨く。  
今後の自身の将来への展望、方向性を明確にすることに繋げる。

## 【授業計画】

1. トренд情報・・・トレンドの解説、講義・・・1コマ
2. 博物館見学・・・「オモシロイフク大図鑑」・・・1コマ
3. D2C ビジネスとブランディング・・・外部講師・講義・・・1コマ
4. 博物館見学・・・「世界のビーズ」・・・1コマ
5. デザイナーについて・・・外部講師・講義・・・1コマ
6. 博物館見学・・・「あつまれ！どうぶつの模様」・・・1コマ
7. 舞台衣装について・・・外部講師・講義・・・1コマ

## 【評価方法】

出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 佐藤 明彦

## 2024年度 カリキュラム科目概要

科コード 21103	科 名 II 部服装科 3 年	単 位	18 単位
科目コード 000230	科目名 服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：成田邦子	共同担当者：相澤雅美 佐藤麻衣 道辻のぞみ
---------------	-----------------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1・2 年次での総合的な知識をもとに、素材・縫製仕様に合った縫製方法を習得する  
 一重ジャケット・防寒用コート・フォーマルウェアの一般知識とシルエット特徴、作図理論、縫製理論を学ぶ  
 製作条件をふまえ、トレンドを意識したデザイン発想を目的とする  
 立体的裁断の基礎と初歩的応用の演習、パターンメイキング検定 3 級レベルを目標とする

## 【授業計画】

服装造形 論 III	通年	4 単位	000230
服装造形 デザイン III	通年	4 単位	000330
服装造形 実技 III	通年	4 単位	000430
ドレーピング a	通年	4 単位	002505
卒業研究・創作	通年	2 単位	970000

## ◎実物製作

- |                       |         |                |
|-----------------------|---------|----------------|
| 1. 一重ジャケット            | (22 コマ) | デザイン・パターン・実物製作 |
| 2. コート                | (36 コマ) | デザイン・パターン・実物製作 |
| 3. フォーマルウェア (卒業研究・創作) | (44 コマ) | デザイン・パターン・実物製作 |

## ◎立体的裁断

- |           |         |  |
|-----------|---------|--|
| 1. ドレーピング | (18 コマ) | 原型身頃・身頃応用・ブラウス・衿各種<br>(使用ボディ…文化ヌードボディ) |
|-----------|---------|--|

## 【評価方法】

英字ランク評価・服装造形論Ⅲ・期末試験結果 100%

英字ランク評価・デザインⅢ・実技Ⅲ・製作物のデザインと途中点検、および完成作品の技術 80% 出欠席・授業姿勢 20%

英字ランク評価・ドレーピングの半身ピン構成完成作品と、そのパターン 80% 出欠席・授業姿勢 20%

## 主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座「ジャケット・ベスト」「コート・ケープ」服飾造形応用編Ⅰ (高級素材)  
 文化ファッション大系 アパレル生産講座③「立体的裁断・基礎編」

参考図書 トrend・ファッション情報誌

その他資料 参考作品各種

## 授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：一般知識、デザイン、作図、パターン、縫製、発表会を行い、各自がデザイン発想からコーディネートまでを通し、服飾造形の基礎を学ぶ

担当教員：文化服装学院 専任教授、専任講師

記載者氏名 成田 邦子

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF3	科 名 II部 服装科 3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 ドレーピングb (選択)	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)： 吉田 真理子	共同担当者：
------------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

立体裁断の基礎の技術を習得し、応用へと発展し、平面作図との関連を把握する。  
既製服生産に要するパターンメイキング理論、演習につなげる。

## 【授業計画】

立体裁断基礎 (14コマ)

1、(0.5コマ)

・布準備、ボディ準備

2、文化ヌードボディによるドレーピング示範、実習

・ヨーク切り替えのフレアスカート (2.5コマ)

・三面構成ジャケット (9コマ)

(三面構成テーラードジャケット、シングルブレスト、あきみせのある二枚袖)

・自由課題 (2コマ)

(各自自由なデザインによる)

## 【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書	：なし
参考図書	：なし
その他資料	：プリント配布

記載者氏名 吉田 真理子

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF3	科 名 II 部服装科 3 年 (選択)	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ファッションデザイン画 III	授業期間	中期・後期 (選択)

担当教員(代表): 岡本あづさ

共同担当者:

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

各自のテーマに向けて独自の発想イメージを具体的に表現できる実力を身に付ける  
改めて画材の特徴、特質を知ることによってデザインの表現テクニックを強化する。人に対して見せる（魅せる）伝えるための  
プレゼンテーションの方法、自分をアピールする方法を常に考え意識しながら表現していく作品制作を目指し目標とする

## 【授業計画】

- I. オリエンテーション (2 コマ) ・「まるいもの」からのデザイン展開
- II. テーマからのデザイン展開 (4 コマ) ・各自研究し、追求したいテーマを設定  
(画材研究と同時進行) デザイン展開を考えて行く  
マーカーのデモンストレーション  
画材のテクニックを知る事で表現の可能性を広げて行く
- III. アイテムデザイン (4 コマ) ・各自のデザインテーマを軸に、注目するアイテムを選択  
そのアイテムについて様々な興味のある角度から調べ、研究し  
シーズンを意識したデザイン展開を考える
- V. コラボレーション (4 コマ) ・自分のデザインで好きなアーティストや注目する企業との  
コラボレーションを架空で企画し展開を考える

## 【評価方法】

評価基準: 学業評価 80%、授業姿勢 20%

## 主要教材図書

参考図書 各分野での展示カタログやアーティストの作品集、ファッション誌、雑誌等。

その他資料 卒業生の参考作品など YouTube 動画 (デザイン画テクニック)

授業の特徴 3 年時ということも考慮し、発想する事だけで終わるのではなく、イメージをより具体的にデザインする事を意識していく。

担当教員紹介 学院卒業後デザイン画講師として活動。(文化服装学院 / 文化学園大学短期大部 / )  
その他ファッションイラストの仕事を手がけ、  
個展も開催 2017 年にはファッションイラストとして初めてイラストが日本郵 局から切手が発売された  
2020 年から「ファッションドローイング」の YouTube チャンネル ADUSA' s design drawing technique」をスタートさせる

記載者氏名 岡本あづさ

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	Ⅱ部服装科 3 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名	CAD パターンメイキング（選択）	授業期間	前期・中期・後期
担当教員（代表）： 井戸川 倫也			共同担当者：	

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業における工業化プロセスの内、特に設計・製造分野で活用されているアパレル CAD システムについて、その仕組み・活用法・操作手順等を実習形式で学習し、基礎レベルの知識と操作方法の修得を目標とする。

## 【授業計画】

- I. オリエンテーション (1)
  - ①アパレルCADシステムフロー
  - ②CADシステムの起動・終了方法
- II. 基本操作 (3)
  - ①基本操作を使用して原型作図
  - ②スカートパターン展開
- III. 基礎パターンメイキング (3)
  - ①シャツパターンメイキング
  - ②シャツプランニング パーツ化・縫い代付け
- IV. 応用パターンメイキング I (1)
  - ①ジャケットパターンメイキング
- V. 工業用パターンメイキング (3)
  - ①ジャケットパターン展開 表衿・見返しパターン作成
  - ②ジャケットパターン展開 裏地・芯地パターン作成
  - ③ジャケットプランニング パーツ化・縫い代付け
- VI. 応用操作方法の復習と確認試験 (2)
- VII. 3DCADでのシミュレーション (1)

## 【評価方法】

S～C・F評価 出席（30%）、提出物（30%）、小試験（30%）、受講姿勢（10%）にて評価

主要教材図書 私製プリント配布

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

アパレルCADの一連のオペレーションが体得できる。担当教員は文化服装学院専任講師

記載者氏名 井戸川 倫也

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 II 部服装科 3 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル生産概論・演習	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業前半にアパレル産業の生産関連の内容を中心に講義し、縫製仕様書、加工裁断芯貼指図書、工程分析表の作成を通して具体的な既製品生産に関する基礎知識を身につける。

授業後半は、台衿付きシャツカラーの長袖シャツを量産的技術で縫製する実習を行い1品作りとの違いを体験し、講義の内容を再認識する。アパレル生産業務に関する基礎的な知識を理解・応用できることを目標とする。

## 【授業計画】

### I. アパレル生産概論（講義・実習）

#### ① ガイダンス（1コマ）

授業概要の説明

現在のアパレル生産環境について

アパレル産業の生産プロセス

アパレルメーカーと縫製工場の関係

アパレル製品生産の流れ

#### ② ものづくり・仕様についての知識（2コマ）

縫製仕様書、加工裁断芯貼り指図書の解説と作成（既製品のシャツ持参）

#### ③ 工程の理解・分析（1コマ）

工程分析表の作成（シャツ）

### II. シャツ製造技術実習

#### ① 裁断実習（1コマ）

延反、自動裁断、芯貼り実習

#### ② シャツ縫製（7コマ）

製造技術と工業用アパレル機器の基本操作習得

#### ③ 検品（1コマ）

検針器、外観検査、寸法検査

### III. 特殊機器見学

#### ① アパレル生産に必要な各種特殊機器を見学（1コマ）

## 【評価方法】

提出物（加工裁断指図書、縫製仕様書、工程分析表、シャツ）90% 出欠席・授業への取り組み10%

主要教材図書

参考図書

その他資料 私製テキスト

授業の特徴と担当教員紹介

講義と縫製実習を通し、アパレル産業の生産プロセスや生産技術を学ぶ。

文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VF3	科 名	Ⅱ部 服装科 3年	単 位	2単位
科目コード		科目名	ファッションマーケティング（選択）	授業期間	（中期・後期）

担当教員（代表）：砂生政信	共同担当者：
---------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。
- ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。

## 【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

<14コマ>

1. アパレル産業構造と職種（講義・演習×1コマ）
2. ファッションサイクル（講義×1コマ）
3. 業態区分（講義×1コマ）
4. マーケティングとは（講義・演習×1コマ）
  - ・マーケットとは・マーケティングとは
  - ・リサーチの基本
5. 4Pとマーケティングミックス（講義×1コマ）
  - ・4Pと4Cの考え方
6. マーケティングのプロセス（講義・演習×1コマ）
  - ・STPマーケティング
  - ・ブランドポジショニング
7. マーケティングのプロセス（講義・演習×2コマ）
  - ・ターゲット設定
  - ・ターゲットライフスタイル分析
  - ・ライフスタイルマップの作成・プレゼン
8. 課題説明（講義・実習×1コマ）
  - ・マーケティングからのブランド設計
  - ・企画書構成説明
9. ブランド企画のステップ（講義・実習×1コマ）
  - ・目標の抽出
  - ・リサーチの実施
10. 企画書作成（点検・実習×3コマ）
  - ・ブランド概要の設定
  - ・ターゲットライフスタイル分析
  - ・ポジショニングマップの作成
  - ・メインアイテムとメインデザインの設定
  - ・チャネル設定とプロモーション
11. プレゼンテーション（発表×1コマ）

## 【評価方法】

- ・S～C・F評価
- ・評価基準：学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	配布プリント

## 授業の特徴と担当教員紹介

- ・マーケティングの基本を理解し、市場に適合したブランド設計を通して、目的の実現に向けた戦略を学ぶ。
- ・文化服装学院アパレルデザイン科卒業後にユニフォームデザイナーを経て、古着ショップを経営。ファッションビジネス分野を中心にファッションマーケティングやマーケットリサーチを専門科目として担当。

記載者氏名 砂生政信

科コード	科 名 II 部 服装科 3 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ファッションコーディネート	授業期間	( 前期 )

担当教員(代表) : 野口 恭子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
ファッションコーディネートに必要な基本知識と技術を習得することを目標とする。  
ファッションイメージに視点を置いたコーディネート、色に視点を置いたコーディネート、アクセサリーに視点を置いたコーディネート、素材柄に視点を置いたコーディネート、体型をカバーするためのコーディネートそれぞれの講義・実習を行う。  
合計 14 コマ

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ファッションコーディネートとは オケーションに合わせたコーディネートテクニック	16	
2	イメージに視点を置いたコーディネート (クラシック・エレガント・ロマンティック・スポーティブ)	17	
3	イメージに視点を置いたコーディネート (エスニック、マニッシュ、モダン、アヴァンギャルド)	18	
4	イメージに視点を置いたコーディネート(MAP 制作実習)	19	
5	カラーに視点を置いたコーディネート (カマイユ・トーンイントーン・トーンオントーン・グラデーション)	20	
6	カラーに視点を置いたコーディネート (マルチ、コントラスト、セパレーション、アクセント)	21	
7	カラーコーディネート実習のためのチーム打ち合わせ	22	
8	カラーコーディネートの撮影実習	23	
9	カラーコーディネート撮影データを使用した MAP 制作実習	24	
10	アクセサリーに視点を置いたコーディネート (イヤリング、リング、ブローチ)	25	
11	アクセサリーに視点を置いたコーディネート(眼鏡、帽子、ネックレス)	26	
12	素材・柄に視点を置いたコーディネート	27	
13	体型カバー・部分カバーに視点を置いたコーディネート	28	
14	骨格タイプに視点を置いたコーディネート	29	
15		30	

S ~ C ・ F 評価  
評価基準 : 学業評価 90% 授業態度 10%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編
参考図書
その他資料

記載者氏名 野口 恭子
-------------



# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VF3	科 名	Ⅱ部服装科3年	単 位	2単位
科目コード	50400	科目名	グラフィックワーク（選択）	授業期間	（前期/中期/後期）

担当教員（代表）：高橋 翼

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

実務において必要なパソコンソフトの基本操作の習得を目指す。ソフトは現場で必須の Adobe Illustrator/Photoshop を使用。製品図の作成や画像レタッチ、コラージュなどを習得していく。

## 【授業計画】

### ●使用ソフト

- ・ Adobe Illustrator / Photoshop

### ●指導内容

- ・ Tシャツの作成 Illustratorの復習
- ・ ランニングの作成 : Illustratorの復習
- ・ ワイシャツの作成 : Illustratorの復習
- ・ 柄の作成 : チェック柄などの基本柄の作成
- ・ 小物・アクセサリ表現 : ファスナーなど小物の作成
- ・ ベースイラスト作成（顔・体） : 各自、好きなブランドの服を選びトレース
- ・ スタイル画の作成（模倣） : 各自、好きなブランドの服を選びトレース
- ・ 製品図の作成（オリジナル） : これまでに制作した服を選び製品図に起こす
- ・ 画像レタッチ : Photoshopの習得
- ・ 切り抜き加工 : Photoshopの習得
- ・ DM制作 : グラフィックデザイン、印刷の仕方について

### ●提出課題

- ・ 製品図
- ・ コラージュマップ
- ・ DM/名刺のデザイン

## 【評価方法】

評価基準：出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

製品図などの表現方法を学ぶと共に現場で通用する企画書、指示書、依頼書など一連の流れを身に付けられる。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 21103	科 名 II 部服装科 3 年	単 位	1 単位
科目コード 980030	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年（ 7 日 ）

担当教員(代表)：成田邦子	共同担当者：相澤雅美 佐藤麻衣 道辻のぞみ
---------------	-----------------------

概要（教育目標・レベル設定など）  
 ファッションに関する現場で活躍されている方々、またその関連分野の専門の方々の講義を聴講、  
 展示見学することにより、知識の幅を広げ、感性を磨き、今後の勉強のあり方や就職への意識向上を図る。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

特別講義Ⅲ

1. トренд情報 …コレクションから見る流行の捉え方 澤住 倫子氏
2. 博物館見学 …「オモシロイフク大図鑑」
3. デザイナーについて 加藤 翔平氏
4. 博物館見学…「世界のビーズ」
5. 生産管理の役割 小堤 良太氏
6. 学友会主催講演会
7. 博物館見学…「あつまれ！どうぶつの模様」

評価方法・対象・比重  
 P評価・出席状況・100%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介  
 ファッション業界で活躍する方々より、アパレル企業の現場で働く現状などの講義を受ける授業を実施。  
 ファッションデザイナー、パタンナー、生産管理など。

記載者氏名 成田 邦子